

「ラビットパラダイス」中止に至る判断について（お知らせ）

盛岡市動物公園では開園当初から令和元年までの30年間、子供たちの情操教育のため動物とのふれあい事業を実施してきました。子供動物園のだっこコーナーにおいて、飼育係が参加者ひとりひとりに対して動物を上手にだっこするためのレクチャーをしながら参加者の膝の上に動物を乗せ、カイウサギやモルモット、ヒヨコのだっこを体験する「ウサギをだっこ」は、動物たちの温もりや重さ、命を感じることでできる大人気のイベントで、初めて動物とふれあう小さなお子様も多く、動物への愛情を育む入口として貢献してきました。

令和2年4月より盛岡市動物公園 ZOOMO として新たに再生事業に取り組むこととなり、“人、動物、環境（生態系）の健康は相互に関連していて一つである”という考え方「one world - one health」を理念に掲げ、野生生物の保全のみならず、自然環境の保全、人の福祉、動物の福祉（Animal Welfare）に資する事業を展開することとなり、これまで実施してきたイベントの見直しが図られました。

「動物の福祉」という新しい理念のもとにイベント「ウサギをだっこ」についても、これまでの膝の上でのだっこではなく、隠れ場所を設けたスペース内にカイウサギを放し、人に触られること、触られないことをカイウサギが自ら選択できるような方法を採用し、動物とのふれあい事業を継続することとしました。また、イベント時間内にカイウサギとの上手なふれあい方法をレクチャーのうえ観察をしながらパズルに挑戦して体の仕組みや生態などを学ぶことで教育の効果も期待し、またオプションとして「ウサギのおやつ」を販売して給餌体験もできるイベントとして令和2年7月から始めました。

イベント開始直後はそれまでの「ウサギをだっこ」とは異なる実施方法に戸惑うお客様も多く見受けられましたが、徐々に浸透して子供動物園の人気イベントとなりました。

これまで2度の咬傷事故が起きました。1度目の咬傷事故の後にはイベント中の事故防止対策のための職員の監視体制徹底を再確認し、参加定員の縮小、口頭での注意喚起とポスターの複数設置、参加者全員へのチラシ事前配布、給餌体験後の手洗い（手に付着した食物のにおいを除去する目的）の解決策を講じてイベントを継続実施することとしました。これらの事故対策を講じていたにも関わらず、短期間に2度目の咬傷事故が起きてしまいました。

2度目の咬傷事故後「ラビットパラダイス」を休止とし、イベントの実施方法や内容、発生状況やこれまでの実施時の状況等も併せて検討しました。サークル内にカイウサギを放してふれあいをすることによりイベント対応職員からの死角が発生してしまうこと、注意喚起を徹底したとしても参加者は目の前のカイウサギとのふれあいに集中し咬傷事故に対して注意散漫となることは避けられないこと、ふれあい用のカイウサギは成獣のため咬まれた時の傷が大きくなってしまふこと等、今年度の開園期間である令和2年11月30日までの期間中にお客様の安全を確保するための対策を講じることが出来ないと判断した他、今年度だけではなくリニューアル開園後に継続実施するかも含めてイベント自体の精査が必要となるものであり、今年度は中止とさせていただくことにしました。楽しみに来ていただいたお客様、イベント再開を楽しみにして下さっていた皆様には大変申し訳ありませんがご了承くださいませようお願いします。

盛岡市動物公園 ZOOMO
園長 辻本 恒徳